

## 令和6年度 地域リーダーのための養成事業（兼ボランティア養成研修）

- [ 主 催 ] 国立曽爾青少年自然の家
- [ 期 日 ] 令和6年5月11日（土）～12日（日）
- [ 対 象 者 ] 地域貢献を目的としたボランティア活動や青少年教育に興味がある者（高校生以上）
- [ 参加/募集 ] 21名／45名
- [ 講 師 ] 小西浩嗣 氏（帝塚山大学 全学教育開発センター 准教授）  
吉田昌功 氏（五條市立五條小学校 講師）
- [ 担 当 ] 三木智拓（主任企画指導専門職）  
坂本純一（企画指導専門職）  
菱川裕輝（事業推進係主任）



### 1 趣 旨

地域の子どもを支援するために求められる知識・技能を習得するとともに、当施設の教育事業や研修支援等への運営・指導補助などを担う人材を育成する。

### 2 ねらい

- ①豊かな自然の中で、活動する意義、ボランティア活動の内容や役割、対象者等について理解し、活動の楽しさを体験する。
- ②ボランティアとして必要となる知識・技能を習得する。
- ③青少年教育として行われる事業やその運営方法について理解する。

### 3 プログラム展開

1日目	10:00	10:10	12:40	13:30	18:00	18:30	19:30	20:00	22:00
	開講式	講義 「青少年教育とは？」	昼食	実技 「アドベンチャーカウンセリング体験」	夕食	入浴	講義 「曽爾青少年自然の家を知ろう」	実技 「キャンドルファイヤーをしよう」	就寝
2日目	6:30	7:00	7:40	9:00	11:00	11:40	12:00	14:10	
	起床	朝のつどい	朝食	講義 「子どもたちの多様性に 応えるために」	講義 「法人ボランティア登録 制度について」	昼食	実技 「普通救命講習」	閉講式	

### 4 活動の様子



【講義のようす】



【アドベンチャーカウンセリング体験のようす】



【普通救命講習のようす】

### 5 まとめ（ねらいに対する参加者の感想、ねらいに対するアンケート結果）

- ・様々な活動を通して、自分だったら子どもたちのために何ができるだろうと考えるきっかけになった。
- ・子どもたちとの距離を縮めるための技術を小西先生の講義で得ることができました。
- ・ボランティアはキャンプリーダーではなく、キャンプカウンセラーと呼ぶことで、引っ張っていくのではなく、寄り添うということが印象に残っています。